

★★緊急シンポジウム★★

福島原発事故

～ “誰にでもわかる” 現状と今後 ～

プログラム

2011 **4/5** Tue ■14:00～16:00

日本財団ビル2階（東京都港区赤坂1-2-2）

※受付開始13:15～



14:00～ 開会挨拶

14:05～ ■講演1：「チェルノブイリの経験から」～福島はこれからどうなるのか？～

山下俊一（長崎大学大学院教授）

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科長、世界保健機関（WHO）緊急被ばく医療協力研究センター長、日本甲状腺学会理事長、チェルノブイリ原発事故後20年間の医療協力に加えて、セミパラチンスク核実験周辺地域医療改善に15年従事。現在福島県放射線健康リスク管理アドバイザーとして現地被ばく医療に従事中。

14:25～ ■講演2：「放射能に関する常識・非常識」

前川和彦（東京大学名誉教授）

東京大学医学部名誉教授（救急医学） / 原子力安全研究協会研究参与
放射線災害医療に詳しく、1999年茨城県東海村JCO臨界事故時に被ばくした作業員の医療を担当した経験を持つ。

14:45～ ■講演3：「日本人の放射線観から」～情報の伝え方・受け止め方～

神田玲子（放射線医学総合研究所放射線防護研究センター上席研究員）

独立行政法人 放射線医学総合研究所放射線防護研究センター上席研究員
1999年茨城県東海村JCO臨界事故時に被ばくした作業員の生物学的線量推定を担当した経験を持つ。

15:05～ 質疑応答

主催：日本財団
共催：（財）笹川記念保健協力財団、
（公財）東京財団、
（特）BHNテレコム支援協議会、
（特）先進医療フォーラム（順不同）

※ 会場は200名程度となります。会場に入りきれなかった場合は、別会場にてモニターをご用意します。予めご了承ください。

【お問い合わせ】

日本財団 福祉チーム 依田・浅倉

03-6229-5163

☆☆緊急シンポジウム☆☆

「福島原発事故～ “誰にでもわかる” 現状と今後 ～」

日 時：4月5日（火）14時～16時

場 所：日本財団ビル2階（東京都港区）

参加申込：4月4日（月）12：00までに、以下の方法でお申し込みください。
会場は200名程度となります。定員を超えるお申し込みがあった場合は、別会場にてモニターをご用意しますので予めご了承ください。

①インターネットからのお申し込み・・・

<https://fs220.xbit.jp/x489/form1/> にアクセスし、必要事項を入力してお申し込みください。

②FAXでのお申し込み・・・

以下のフォームに必要事項を入力してFAXしてください。

緊急シンポジウム参加申し込みフォーム（FAX）

「福島原発事故～ “誰にでもわかる” 現状と今後 ～」

FAX 送信先：03-3259-8120【4月4日12時〆切】

ご 氏 名		
ご 所 属		
ご 住 所		
T E L	会社電話	携帯電話
F A X		
E-m a i l		